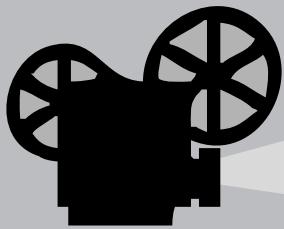


映画に関する著名な101賞の全貌がわかる



映画の賞事典

日外アソシエーツ 編

A5・720頁 定価(本体18,800円+税) ISBN978-4-8169-2223-7 2009年12月刊行



9784816922237

世界最古の伝統を誇る

キネマ旬報ベスト・テン(大正13年)、
アカデミー賞、ヴェネチア国際映画祭など

- 大正期以降の映画に関する国内・海外の主要な賞を網羅した賞の事典です。長編・短編・アニメ・ドキュメンタリー・産業映画から、脚本、評論、照明、美術、音楽などの部門・関連賞まで様々な101賞を収録しています。

この1冊で、国内外の賞の概要と全受賞者がわかる

- 各賞の概要(主催者、設立の経緯、選考基準、選考委員、賞金など)および創設以来歴代の全受賞者記録を掲載しているのので、賞の全貌がわかります。
- 受賞者から検索でき、受賞歴を知ることができ「受賞者名索引」付き。

公共図書館
映像関連教育機関・研究室
マスコミ資料室に
おすすめ!

収録賞一覧

【国内】あなたが選んだスクリーン・ゴールデン・グランプリ/市川雷蔵賞/伊藤幸夫賞/AMA全国映像コンテスト/映画芸術ベストテン/映像技術賞/ATG脚本賞/おおさかシネマフェスティバル/川喜多賞/菊島隆三賞/城戸賞/キネマ旬報賞/キネマ旬報読者選出ベスト・テン/キネマ旬報文化映画ベストテン/キネマ旬報ベストテン/教育映像祭/京都うつまさ映画祭/京都映画功労賞・奨励賞/京都映画文化賞/くまもと映画祭/グリーンリボン賞/芸術祭賞/芸術作品賞/芸術選奨/国民映画脚本/ゴールデン・アロー賞/ゴールデングロス賞/SARVH賞一年間最優秀プロデューサー賞/サンダンス・NHK国際映像作家賞/サンリオ脚本賞/シティロード・メモリアル・ベスト〔映画部門〕/シネ・フロント賞/シネマ大賞/照明技術賞/新人映画シナリオコンクール/新人シナリオコンクール/新藤賞/JSC賞/児童福祉文化賞/スクリーン執筆者・愛読者選出ベストテン/高崎映画祭/東京国際映画祭/東京フィルメックス・コンペティション/東宝シナリオ大賞/動物愛護映画コンクール/日刊スポーツ映画大賞/日本アカデミー賞/日本映画監督協会新人賞/日本映画技術賞/日本映画テレビ技術協会個人賞/日本映画テレビ技術協会賞/日本映画批評家大賞/日本映画復興賞/日本映画プロフェッショナル大賞/日本映画ペンクラブ賞/日本カトリック映画賞/日本産業映画・ビデオコンクール/日本シナリオ大賞/日本紹介映画・ビデオコンクール/日本テレビ技術賞/年鑑代表シナリオ/函館港イルミネーション映画祭シナリオ大賞/飛騨国際メルヘンアニメ映像祭メルヘンアニメコンテスト/広島国際アニメーションフェスティバル/ぴあテン〔映画部門〕/PFFアワード/藤本賞/ブルーリボン賞/文化庁映画賞/報知映画賞/冒険とスポーツの国際映画祭/毎日映画コンクール/牧野省三賞/マックスファクター・ビューティ・スピリット賞/三浦賞/みちのく国際ミステリー映画祭/南俊子賞/山形国際ドキュメンタリー映画祭/山路ふみ子賞/優秀映画賞/優秀外国映画輸入配給賞/ゆうばり国際ファンタスティック映画祭/ヨコハマ映画祭/淀川長治賞

【海外】アカデミー賞/インディペンデント・スピリット賞/ヴェネチア国際映画祭/英国アカデミー賞/MTVムービー・アウォーズ/カンヌ国際映画祭/ゴールデン・グローブ賞/ゴールデン・ラズベリー賞(ラジー賞)/青龍賞/セザール賞/大鐘賞/ニューヨーク映画批評家協会賞/ベルリン国際映画祭/モスクワ国際映画祭/ヨーロッパ映画賞/ロサンゼルス映画批評家協会賞
…全101賞

2017.2

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	映画の賞事典	
		定価(本体18,800円+税) ISBN978-4-8169-2223-7	冊
		■お名前	

082 ニューヨーク映画批評家協会賞 New York Film Critics Circle Awards

批評家協会の中で最も古い歴史を持つニューヨーク映画批評家協会が主催し、1935年に開始。アカデミー賞にも大きな影響力を及ぼす賞の一つ。批評家を選ぶことから、娯楽性よりも芸術性や社会性に優れた作品が選ばれる傾向がある。賞の発表は12月中旬、授賞式は1月に開催される。62年には新聞のストライキが原因で、受賞作が発表されなかった。

- 【主催者】 ニューヨーク映画批評家協会 (New York Film Critics Circle)
【選考委員】 協会の投票によって決定
【締切・発表】 (2008年)2008年12月10日投票・発表。2009年1月5日授賞式
【賞・賞金】 楯
【URL】 http://www.nyfcc.com/

賞について解説と概要

創設以来の受賞者と作品

- 第1回(1935年)
◇作品賞 「男の敵」(“The Informer”)
◇監督賞 ジョン・フォード(John Ford)「男の敵」(“The Informer”)
◇男優賞 チャールズ・ロートン(Charles Laughton)「戦艦バウンティ号の叛乱」(“H.M.S. Ussell”)
◇女優賞 グレタ・ガボ(“The Sign of the Cross”)
◇男優賞 ジェームズ・キャグニー (James Cagney) 「汚れた顔の天使」(“Angels with Dirty Faces”)
◇女優賞 マーガレット・サラヴァン (Margaret Sullavan) 「三人の仲間」(“Three Comrades”)

第2回(1936年)

- ◇作品賞 「オベロタウン」(“Oberto”)
◇監督賞 ルーイ・ブニエ(Louis Bunuel)「歌聲の脱走」(“Les Portes de Paradis”)
◇男優賞 ウォルター・ヒューストン(“The Sign of the Cross”)
◇女優賞 ルイーゼ・ブルック(“The Sign of the Cross”)
◇男優賞 ジョージ・シゲル(“The Sign of the Cross”)
◇女優賞 エミール・ジヤネツキ(“The Sign of the Cross”)

第3回(1937年)

- ◇作品賞 「ゾラ」(“Emile Zola”)
◇監督賞 グレゴリオ・ラバ(“Emile Zola”)
◇男優賞 ポール・ヘンレ(“The Life of Emile Zola”)
◇女優賞 グレタ・ガボ(“Camille”)

第4回(1938年)

- ◇作品賞 「城塞」(“The Citadel”)
◇監督賞 アルフレッド・ヒッチコック(“The Citadel”)
◇男優賞 アルフレッド・ヒッチコック(“The Citadel”)
◇女優賞 アルフレッド・ヒッチコック(“The Citadel”)

056 ブルーリボン賞

056 ブルーリボン賞

新聞社の各映画記者が1年間の映画界を振り返り、その成果について議論し、世に問うことを目的として、昭和25年に創設された。当初は「日本映画文化賞」という名称であったが、この時賞状をありあわせの青いリボンで結んで贈ったことから「ブルーリボン賞」の名が使われ、第3回から正式名称となった。昭和36年、一般紙と共同通信が記者会を脱してスポーツ紙(現在は7社)のみが残り、更には42年に中断されたが、その後51年に10年ぶりで復活され、現在に至る。

- 【主催者】 東京映画記者会
【選考委員】 在京スポーツ新聞社7社の映画記者
【選考基準】 [対象] 過去1年間に公開された映画作品
【締切・発表】 例年1月下旬

第1回(昭25年度)

- ◇日本映画文化賞 松竹 富士写真フィルム(製作)「カルメン故郷に帰る」
◇最優秀作品賞 「また逢う日まで」(今井正監督)
◇脚本賞 黒沢明 橋本忍「羅生門」
◇監督賞 今井正「また逢う日まで」
◇演技賞 山村聡「宗方姉妹」ほか 淡島千景「てんやわんや」ほか
◇新人演出賞 佐分利信「執行猶予」ほか
◇技術賞 中井朝二「偽れる盛装」ほか

第5回(昭29年度)

- ◇日本映画文化賞 永田 雅一(大映社長) 川喜多 長政(東映社長) 日本映画の海外進出に関する功績に対して
◇最優秀作品賞 「二十四の瞳」(木下恵介監督)
◇企画賞 該当者なし
◇脚本賞 木下 恵介 「二十四の瞳」「女の園」
◇監督賞 溝口 健二「近松物語」
◇技術賞 大映色彩映画技術スタッフ「地獄門」「金色夜叉」「月よりの使者」「千姫」
◇音楽賞 早坂 文雄「七人の侍」「近松物語」
◇主演男優賞 該当者なし
◇主演女優賞 高峰 秀子 「二十四の瞳」

第50回(平19年度)

- ◇作品賞 「キサラギ」(佐藤祐市監督)
◇監督賞 周防 正行「それでもボクはやってない」
◇主演男優賞 加瀬 亮「それでもボクはやってない」
◇主演女優賞 麻生 久美子「夕風の街」
◇助演男優賞 三浦 友和「転々」「松ヶ根乱射事件」
◇助演女優賞 永作 博美「腑抜けども、悲しみの愛を見せる」
◇新人賞 新垣 結衣「恋空」「恋するマドリ」「ワルホロ」
◇外国映画賞 「ドリームガールズ」
◇特別賞 植木 等(故人) 長年の映画界への貢献をたたえて

第51回(平20年度)

- ◇作品賞 「クライマーズ・ハイ」(原田真人監督)
◇監督賞 是枝 裕和「歩いても 歩いても」
◇主演男優賞 本木 雅弘「おくりびと」
◇主演女優賞 木村 多江「ぐるりのこと。」
◇助演男優賞 堺 雅人「クライマーズ・ハイ」「アフタースクール」
◇助演女優賞 樹木 希林「歩いても 歩いても」
◇新人賞 吉高 由里子「蛇にピアス」 リリー・フランキー「ぐるりのこと。」
◇外国映画賞 「ダークナイト」

映画に関する主要101賞の全データを掲載